

## 大阪電通大生が制作した「楽しく学べるゲーム」を市内全小学校へ ～官学連携で育む、子どもたちの学びとまちの魅力～

### 概要説明



市民ゲーム大会の様子



「飯盛城すごろく」ゲームで遊ぶ子ども

四條畷市では、大阪電気通信大学と平成 24 年度に締結した包括連携協定に基づき、地域課題の解決と人材育成を目的とした官学連携事業の一環として、同大学総合情報学部と市教育委員会社会教育部が連携した「官学連携社会プロジェクト実習」を実施しています。

本事業では、大学生が小学生向けに、市の歴史的遺産や地理、文化、魅力スポットなどをテーマにした「楽しく学べるゲーム」を制作し、完成したゲームを市内 6 小学校の「放課後子ども教室」へ寄贈しています。

### ■官学連携によるゲーム制作プロジェクト

ゲーム制作にあたっては、年間を通じて市文化財課職員が大学生の授業に講師として参加し、歴史や文化に関する指導や現地学習を実施。また、市スポーツ・青少年課職員や放課後子ども教室の市民コーディネーターが、大学生との意見交換やテストプレイ、助言などを行っています。

### ■官学協働でイベントを開催

12 月 7 日(日)には、大阪電気通信大学主催で放課後子ども教室へのゲーム贈呈式および「遊んで学ぶ四條畷の文化 市民ゲーム大会」を開催。制作に携わった学生たちが、ゲームの魅力やルール、背景などを来場した市民に紹介し、子どもから大人まで幅広い世代がゲーム体験を通じて、四條畷の歴史や文化を学びました。



## ■市内全ての放課後子ども教室で活用

寄贈されたゲームは、ボードゲーム、かるた、すごろく、輪投げ、ダーツなど多彩で9種類あり、素晴らしい内容となっています。

令和8年1月21日(水)の忍ヶ丘小学校放課後子ども教室を皮切りに、数か月単位で市内全ての小学校において、「電通大生が作ったゲームで遊ぼう！」をテーマとしたプログラムを順次実施予定です。

## ■学びとまちづくりにつながる好循環

放課後子ども教室では、ゲーム体験を通して市の歴史や地理、文化などを楽しく学ぶことで、子どもたちにとって豊かな学びの機会となっているほか、スタッフにとっても知識の再確認や市の魅力再発見につながると好評を得ています。

また、当日市民ゲーム大会に参加した大学生からは

「試行錯誤しながら苦労した甲斐があった」

「自分が作った初めてのゲームを市民がプレイしていることが嬉しく、今後の創作意欲や夢につながった」

「デジタルゲームが専門だが、今回のゲームづくりが自身の勉学にとって大変参考になった」

といった声が寄せられました。

市では今後も、「“ゲーム”がつなぐ ゆたかな学びでまちづくり」を目的に、大学との連携による特色ある取組みを積極的に展開していきます。

問い合わせ
電話 072-877-2121(代) スポーツ・青少年課 担当：神本（内線 280）